高岡圏域における
定住自立圏構想について

２０１０年１月２７日
高岡市　経営企画部　都市経営課

高岡圏域について

㈱日本政策投資銀行北陸支店

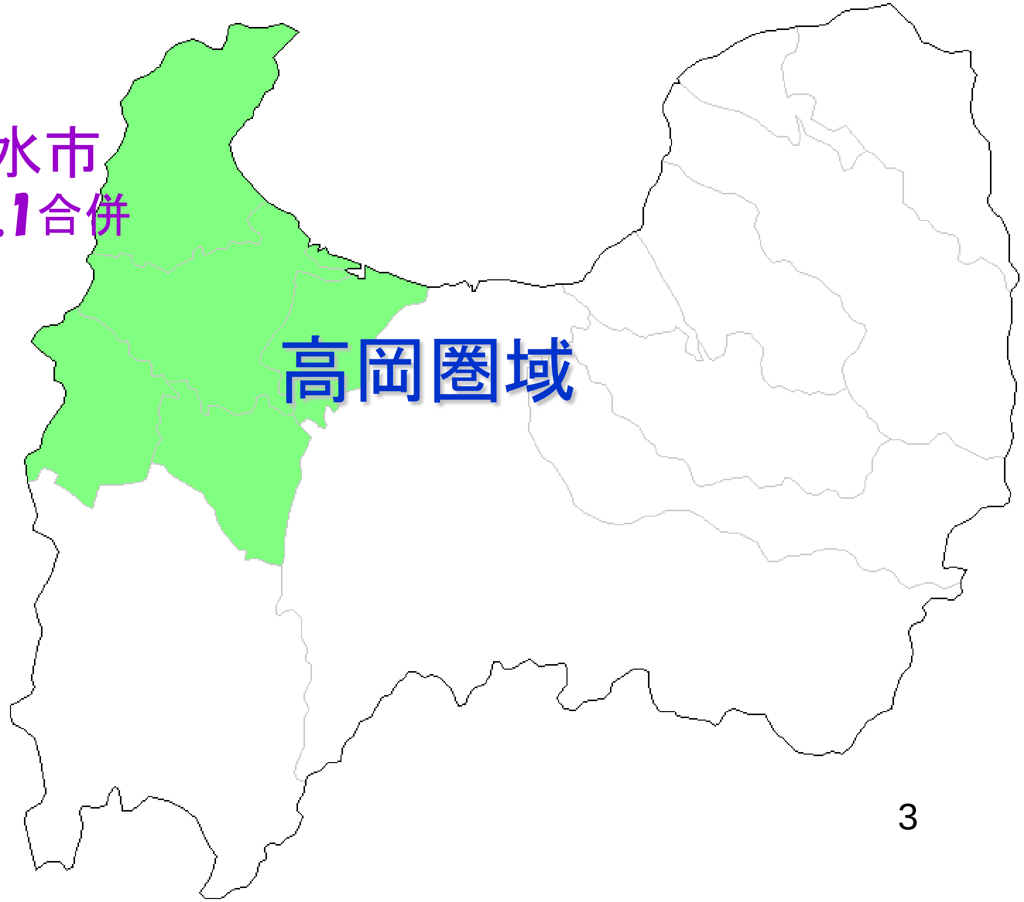
高岡都市圏地域づくり健康診断より

高岡圏域を構成する市町村

2005.10.1時点：5市4町1村

高岡市	167,685人	→ 高岡市 2005.11.1合併
福岡町	13,544人	
新湊市	36,547人	→ 射水市 2005.11.1合併
小杉町	32,948人	
大門町	12,390人	
大島町	10,305人	
下　村	2,019人	
氷見市	54,495人	
砺波市	49,429人	
小矢部市	33,533人	
圏域合計	412,895人	

（2005年国勢調査）

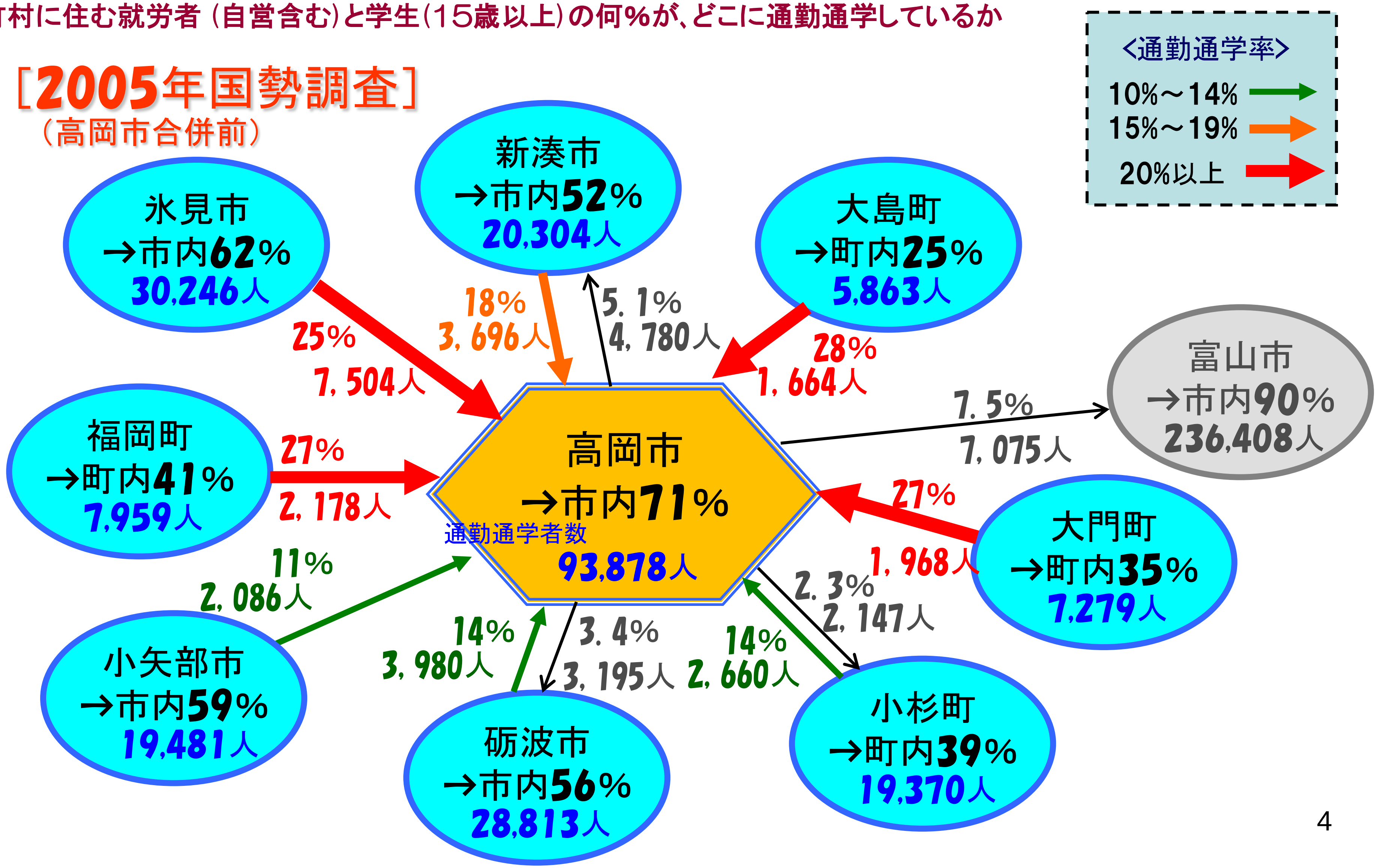


高岡圏域の市町村構成

～通勤通学率による結びつきの程度～

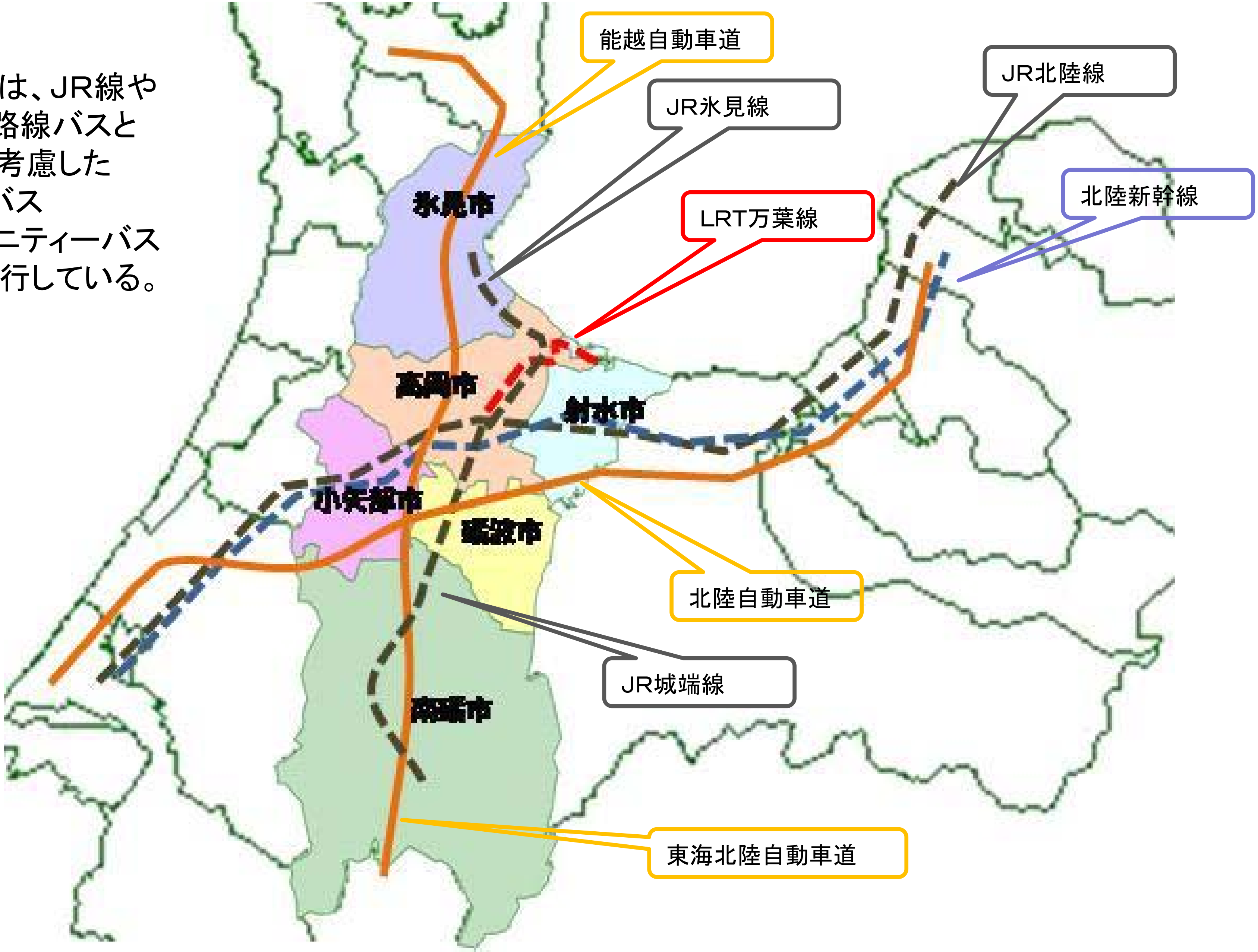
各市町村に住む就労者（自営含む）と学生（15歳以上）の何%が、どこに通勤通学しているか

最新［2005年国勢調査］
（高岡市合併前）



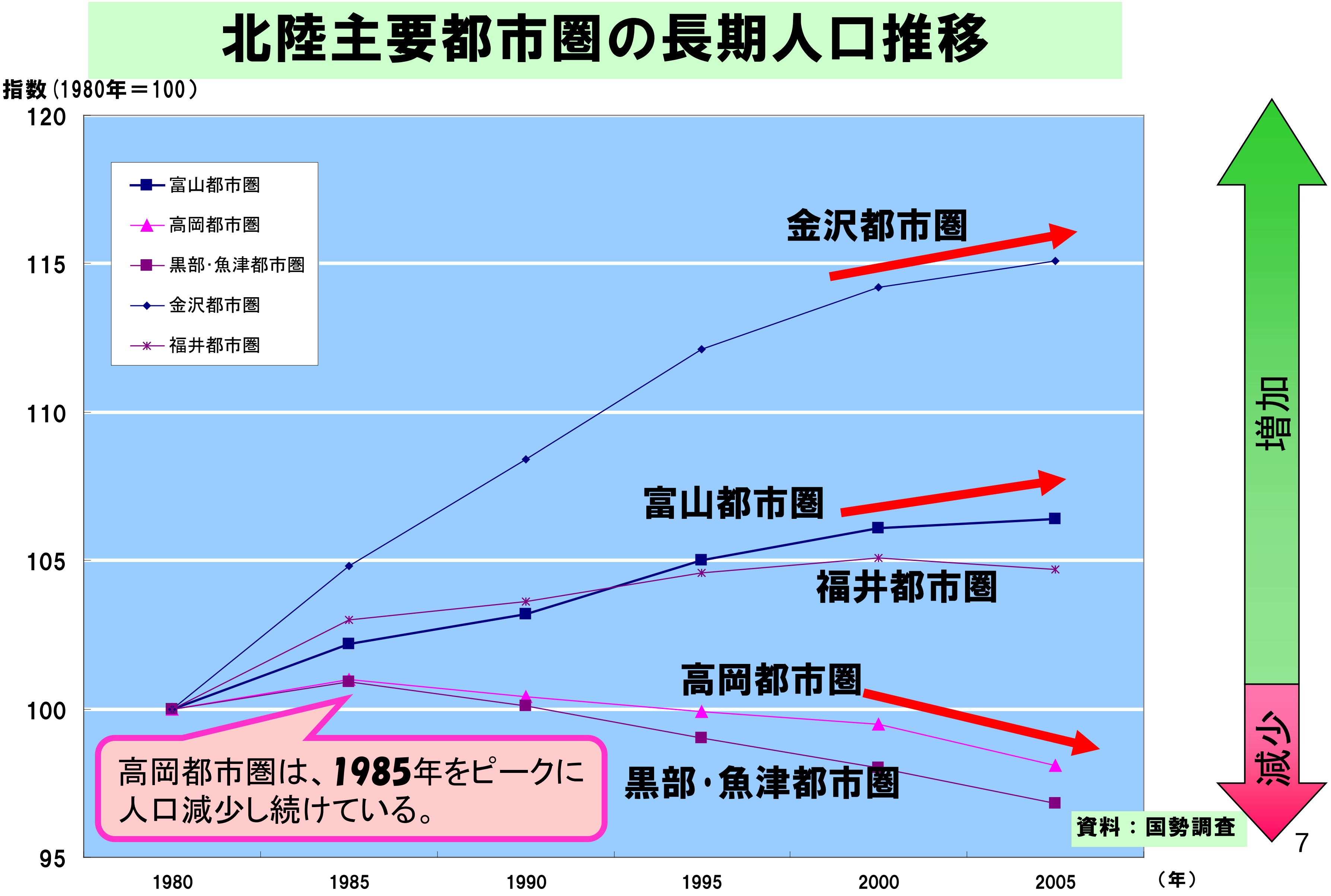
高岡圏域の公共交通の現状

各市には、JR線やLRT、路線バスと接続を考慮した
・市営バス
・コミュニティーバス
等が運行している。

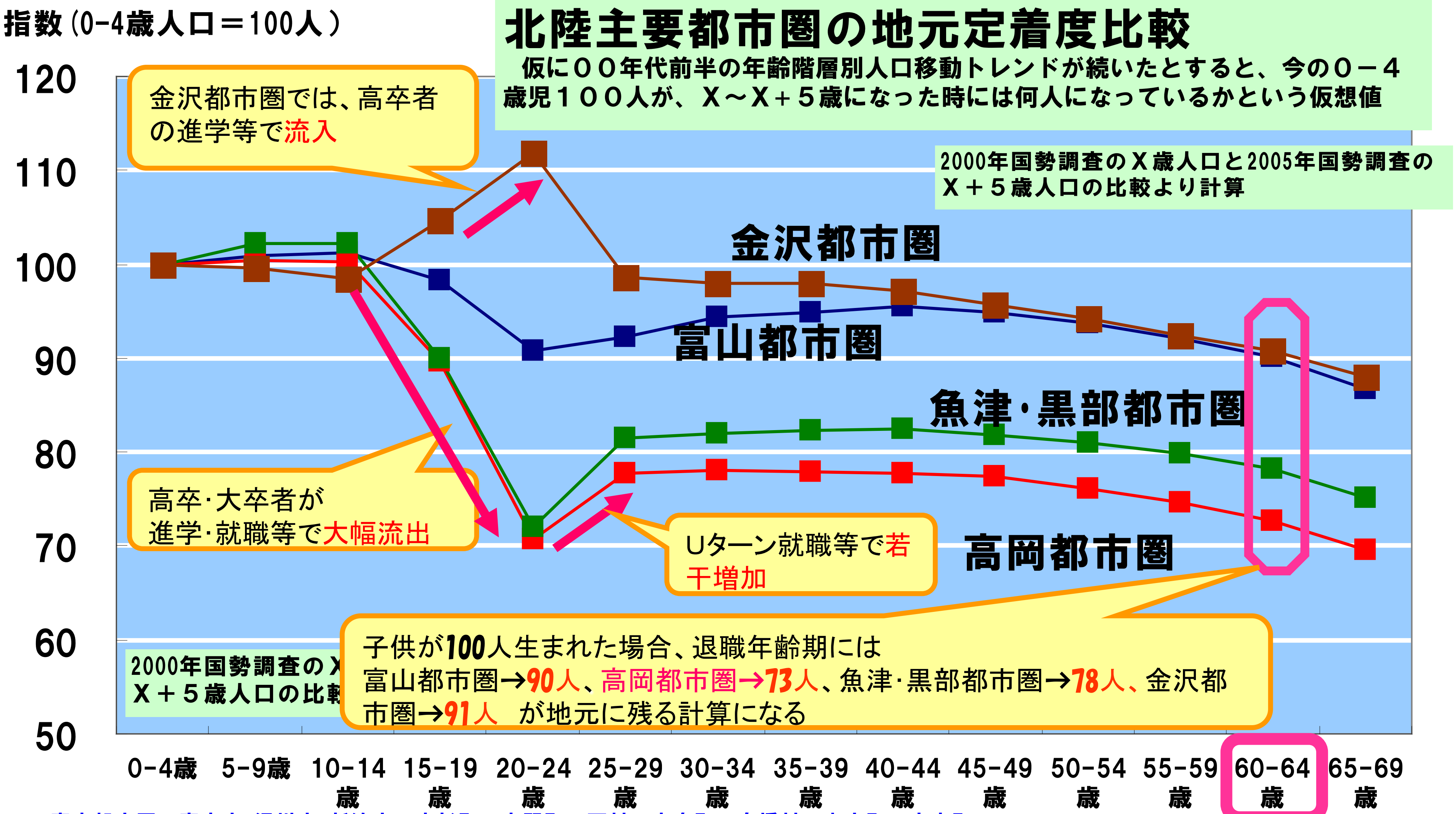


高岡圏域の人口動態

北陸主要都市圏域の人口動態



高岡圏域住民の地元定着度

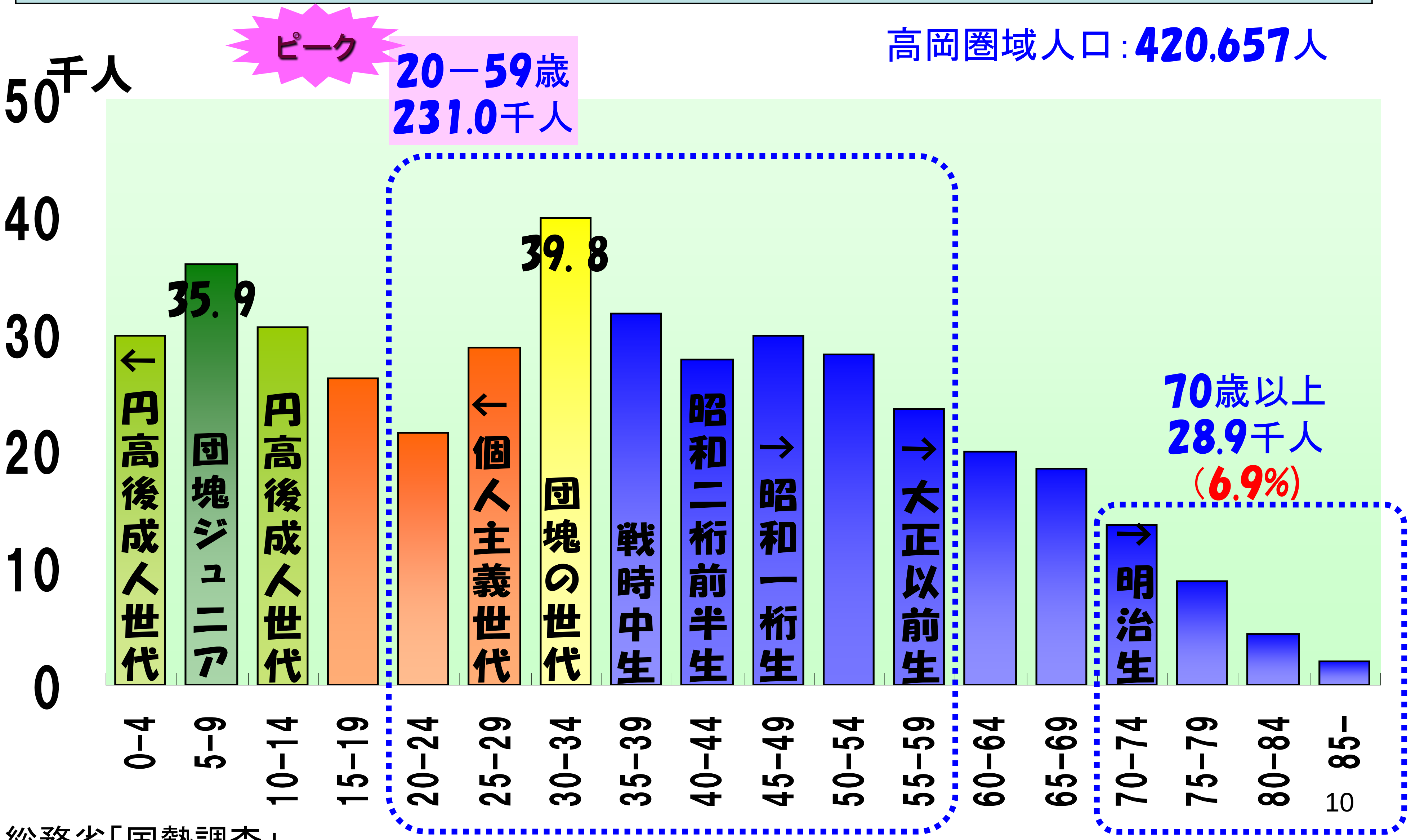


富山都市圏＝富山市､滑川市､新湊市、小杉町、大門町、下村、大島町、舟橋村、上市町、立山町
高岡都市圏＝高岡市、新湊市、小杉町、大門町、大島町、氷見市、砺波市、小矢部市、庄川町、福岡町
魚津･黒部都市圏＝魚津市、黒部市、滑川市、宇奈月町、入善町、朝日町
金沢都市圏＝金沢市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町、尾口村、白峰村、宝達志水町
（都市圏は、2005年国勢調査に基づく構成で抽出）

人口構成から見た
高岡圏域の
過去･現在･未来

1980年(25年前)の高岡圏域

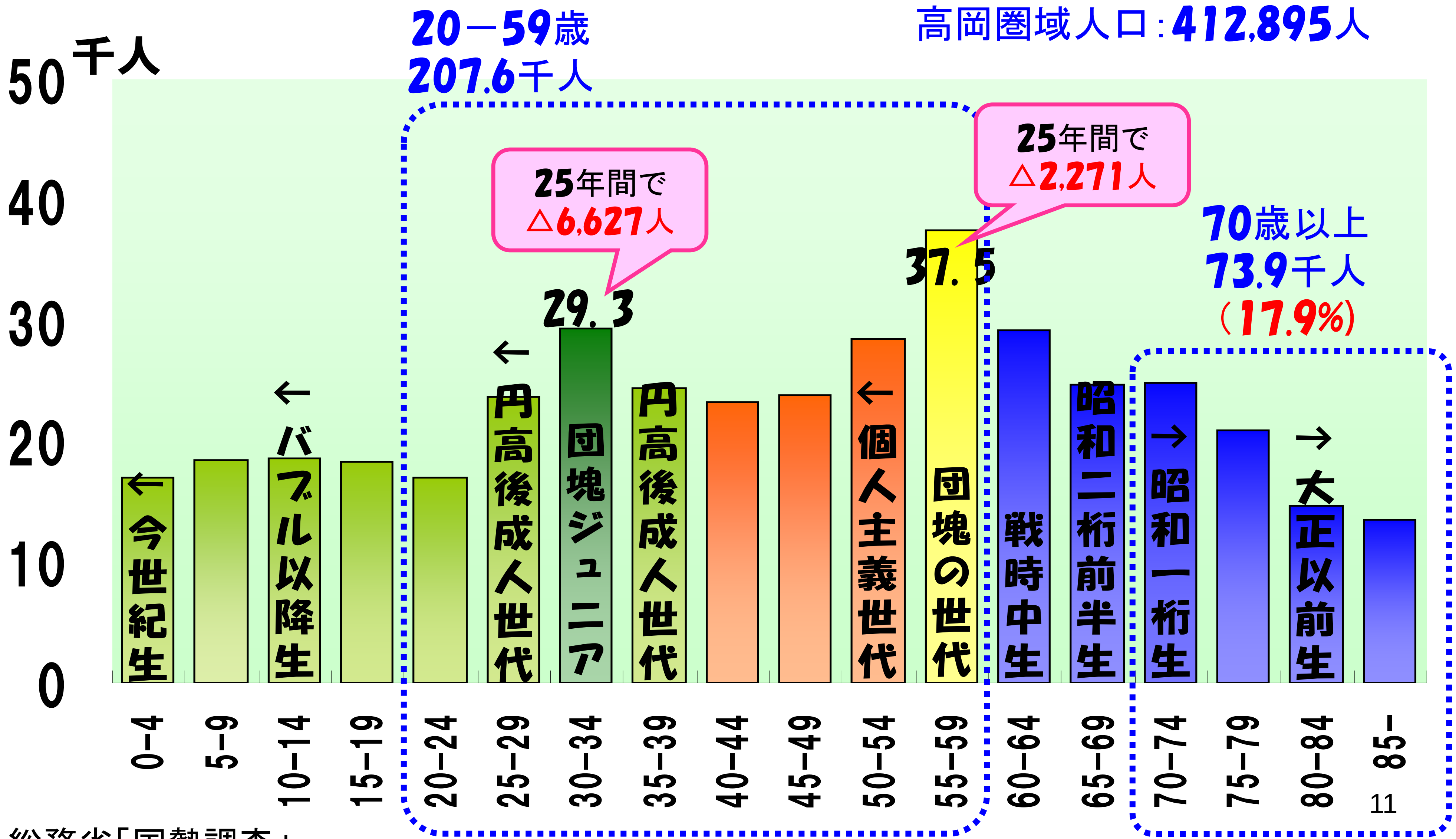
何歳の人口が多いのか：1980 (S55) 時点の高岡圏域年齢階層別人口



総務省「国勢調査」

2005年(現在)の高岡圏域

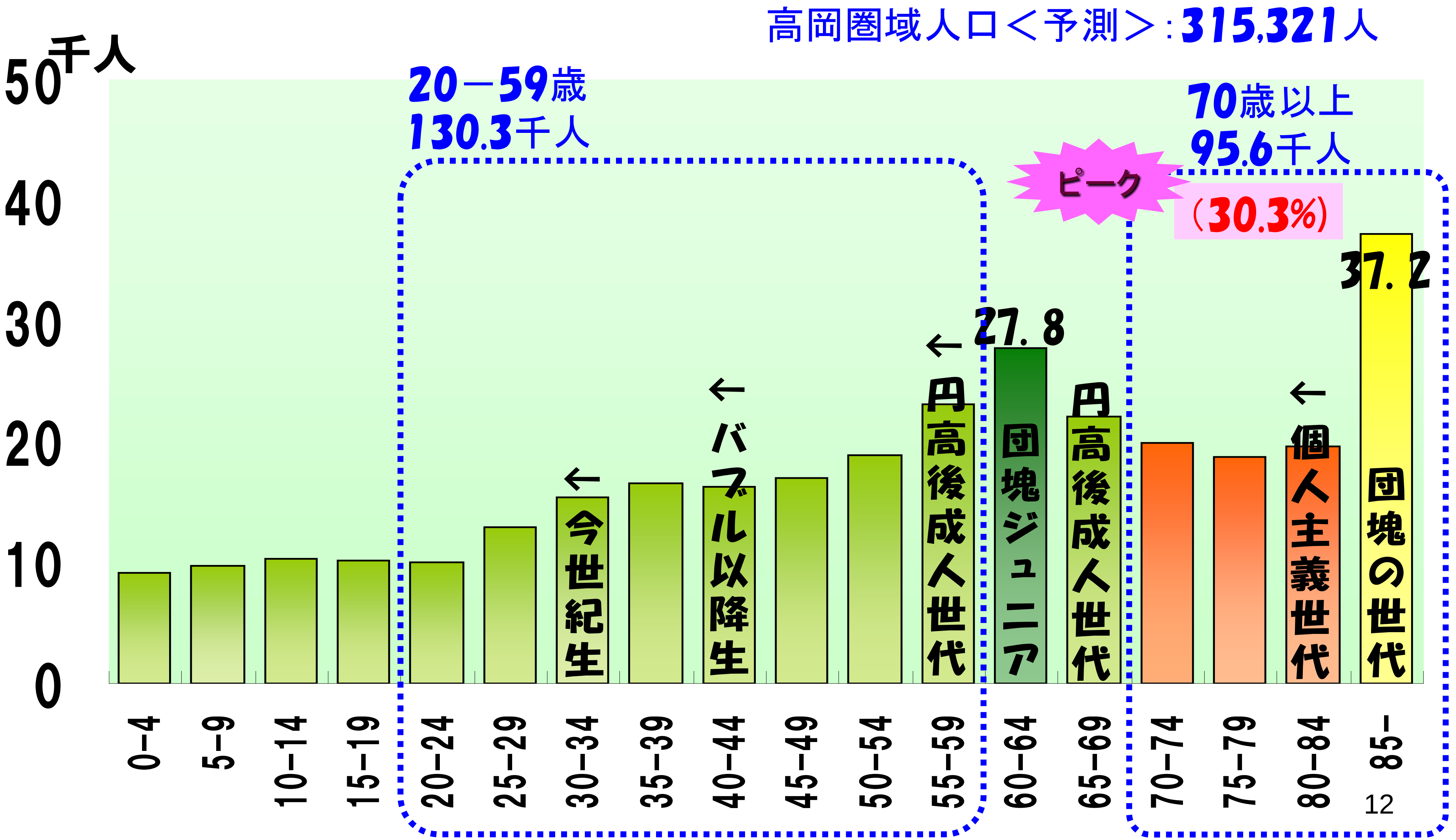
何歳の人口が多いのか:2005 (H17) 時点の高岡圏域年齢階層別人口



総務省「国勢調査」

2035年（30年後）の高岡圏域<予測>

何歳の人口が多くなるのか：2035（H47）時点の高岡圏域年齢階層別人口



国立社会保障・人口問題研究所中位推計

高岡圏域の課題

圏域の課題①

人口減少と若年層の流出・高齢化

○1985年をピークに減少し続けている。

○若い世代や、働き盛りの世代は全国平均よりも少なく、50代後半以降はすべての世代で全国平均を上回る。→高齢化の進展

○学生世代は、大学進学等で圏域から大幅に流出。

○2035年には、圏域人口の30%が高齢者（70歳以上）となる。

圏域の課題②

賑わう大型SC周辺　vs　賑わいを失った中心市街地

〇SC周辺では、車利用の郊外住民にとって極めて便利な生活空間。

〇駅前商店街では、徐々に賑わいを喪失してきている。

〇今後迫り来る高齢化は、郊外に動きのとれない交通弱者を激増させる。

圏域の課題③

観光

○新幹線新駅が開業すると、高岡からの日帰り旅行圏が拡大。

○日帰り観光客数の増加は期待できるが、宿泊客は他に流れる可能性大。

○観光地の周りに買い物が出来るエリアが少ない。

○祭り、産業観光、伝統文化、万葉の里などのキーワード。

圏域の課題④

医療(高岡医療圏)　高岡市、射水市、氷見市

人口：**329,933**人(**2005.10.1**)

〇医師や看護師の不足　＋　コンビニ受診者の増加

　⇒　救急病院に勤務する医師の負担増

〇圏域内病診連携の推進

〇持続可能な病院経営を図る。

定住自立圏　取組みの現状について

○高岡射水地域づくり推進協議会

（構成市：高岡市、氷見市、小矢部市、射水市）

圏域人口：363，466人(2005．10．1現在)

・ 平成21年8月、担当レベルの勉強会(第1回)を実施

・ 平成21年10月、市町村サミット2009in島根に参加

・ 平成22年2月、第2回勉強会開催予定

高岡圏域の方向性について

(生活機能の強化)

・ 農商工連携の推進
・ 定住、移住施策の推進
・ 医療体制の充実

(圏域マネジメント能力の強化)

・ 行政マネジメント
・ 協働マネジメント
・ 民活マネジメント

(結びつきやネットワークの強化)

・ 北陸新幹線開業を契機とした地域公共交通の再構築
・ 広域観光の振興
・ 地産地消、地域ブランドの育成

ご静聴ありがとうございました